

令和3年7月11日からの大雨による添川地区浸水被害ボランティア活動報告

令和3年7月30日

地域福祉課

令和3年7月11日

秋田市内では、11日夜の大雨により多くの世帯が浸水被害に見舞われた。

床上浸水 25 棟（上新城・手形・南通・檜山・添川・下北手）

床下浸水 51 棟（上新城・下北手・濁川・中通・横森・桜・旭南・手形・南通・仁井田・柳田・添川）

今回は、現地調査から添川地区、下北手地区にてボランティア活動を実施した。

7月12日 職員による被害状況確認とニーズ調査を開始

被害規模から通常のボランティアセンターとして活動することとした。

7月15日 ボランティア募集開始（県内在住者を対象にボランティアを募集）

7月16日 ボランティア活動開始

7月30日 ボランティア活動終了

活動期間：令和3年7月16日～18日、21日、30日（5日間）

活動実績：依頼件数 13件（延）6件（実）

活動件数 13件（延）

活動人数 92人（延）

78人（ボランティア 団体76人 個人2人）

14人（市社協職員）

活動内容：家具の移動、床の拭き掃除、部屋の清掃、床下の泥だし、消毒等

参加団体：「災害等ボランティア確保の連携・協力に関する協定」より

秋田県中部地区郵便局長会（17）、秋田銀行（8）、北都銀行（4）

※秋田銀行、北都銀行は今回が初参加

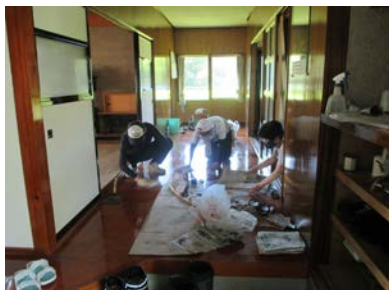
「秋田市地域福祉おむすびネット」より

金寿園（3）、松寿会（2）

建設業協会青年部（9）、真如苑（14）、曹洞宗（9）、秋田ノーザンブレッツ RFC（10）

参加個人：2人

【活動写真】



【支援者からの寄稿】 秋田魁新聞「声の十字路口」より (R3.8.2 掲載)

大雨で被災、多くの支援に感謝

吉川 良子 69歳

(秋田市添川)

先月11日から翌12日にかけての大雨により、秋田市添川にある平屋のわが家は床上浸水した。家具や家電

など多くが被害を受け、深い喪失感に襲われた。そんな中、たくさんの人たちが私を助けてくれ、本当にありがたかった。

深夜、私は浸水した家の中2階の物置スペースに逃げ込んでいた。通報後、警察と消防が来て、私を背負い、外の安全な場所まで導いてくれた。私は、東部市民サービスセンターいーばるに避難し、翌朝までお世話になった。

雨がやんでから家の片付けを始めたが、1人暮らしの私は、膨大な作業に途方に暮れてしまった。そこで、市社会福祉協議会に電話。

職員やボランティアら多くの方々が、2週間近くにおたり片付けを手伝ってくれた。泥出しや家具の運び出しなど、炎天下でこんなに

も手を貸してもらえるところは、感謝感激だった。中でも小学2年生のボランティアの男の子との会話は、心安らぐひとときだった。

また、ボイラー修理を頼んだ業者は、厚意で送風機を貸してくれ、新品の棚まを届けて私を励ましてくれた町内のご夫妻や、さまざまな事務手続きを私の代わりにしてくれた知人など、たくさんのご協力を感謝したい。

水害で失ったものは多いが、得たものも大きかった。通常の生活に戻るにはもう少し時間がかかるが、多くの人の支援のおかげで前に進める。この経験を胸に、これからの人生、困っている人がいたら声を掛け、少しでも役に立ちたいと思っている。

あふれる感謝の思いをどう言い表したらいいか、今の私には分からないが、紙面を借りてお礼を申し上げます。ありがとうございます。